

地球温暖化対策実行計画(地域推進版) ー環境モデル都市アクションプランーの改定について

1. 改定の背景 ⇒気候変動リスクへの対応の必要性→世界的潮流は低炭素化から脱炭素化へ



(地方公共団体の責務)

○区域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出抑制施策として求められる事項 ⇒緩和策

- ・再生可能エネルギー導入促進
- ・地域の事業者、住民による省エネ推進
- ・都市機能の集約化、公共交通その他地域環境の整備
- ・循環型社会の形成

○地域の状況に応じた気候変動適応計画の策定が努力義務に。

⇒適応策

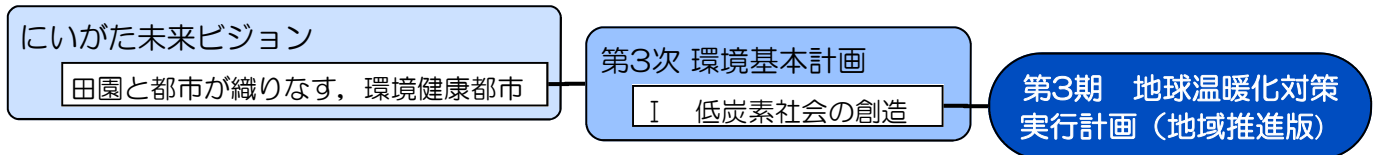
2. 本市の状況 ⇒これまでの取り組みでは中・長期目標の達成は困難

<地球温暖化対策実行計画(地域推進版)策定状況>

	計画期間(年度)	基準年度	二酸化炭素削減目標	結果
第1期計画	2009~2012	2005	▲11%	▲6.0%
第2期計画 (環境モデル都市 アクションプラン)	2013~2018	2005	(短期:2018年度) ▲15% (中期:2030年度) ▲40% (長期:2050年度) ▲80%	▲9.6% (直近2015年度 の結果)

3. 改定概要

<計画の位置づけ>



<計画概要>

	計画期間(年度)	基準年度	二酸化炭素削減目標
第3期計画(環境モデル都市AP)	2019~2023	2013	施策目標等により設定(中・長期目標も)

